



宍道高校図書館だより〈地域版〉

この「図書館だより」は、宍道高校ホームページでもご覧いただけます。

URL(アドレス)は <https://www.shinji-h.ed.jp> です。

4月14日(日)に令和6年度入学式を挙行し、新入生300名を迎えて新年度をスタートしました。今年度も、地域の皆様に宍道高校に親しんでいただくため、図書館の地域開放を行います。学校図書館ですので、蔵書の種類や利用時間等に制約があり、市立図書館の代わりにはなりません。遠出しにくい方や自宅でお過ごしの方を中心に、気軽にご利用ください。

宍道高校図書館は地域の皆様もご利用になれます

利用できる方

宍道町内在住の18歳以上の方

(登録時に住所等を確認できるものがが必要です。)

利用できる日時

月曜～金曜 午前10時～午後4時

- ・学校行事等のため利用できない場合もあります。
- ・事務室で受付をしてからご来館ください。
- ・**来校者の名札** の着用をお願いします。

貸出 一人5冊まで2週間 借りられます。

お問い合わせは

宍道高校 (TEL. 0852-66-7577)
図書館 渡部まで

5月の地域開放予定日

変更する場合があります

利用できない日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

*利用できる時間:午前10時～午後4時

9日は午前11時～午後2時

10, 17, 31日は午前10時～午後1時

事務室前の返却ポストは、

平日の午前7時半～午後7時まで

新聞

(1～2年間保存しています)

「山陰中央新報」「毎日新聞」(「朝日新聞」は前日分)

雑誌

(バックナンバーは貸出できます)

「アエラ」(週刊誌)

「ノンノ」(女性ファッション雑誌)

「ナンバー」(スポーツ雑誌)

「ダ・ヴィンチ」(本と漫画の雑誌)

「ロッキン・オン ジャパン」(音楽雑誌)

「日経エンタテインメント！」(芸能雑誌)

「オレンジページ」(料理・生活雑誌)

「ニュートン」(科学雑誌)

「モエ」(イラスト・絵本雑誌)

絵本

(読み聞かせや家族で楽しめる絵本 約460冊)



R5年度のご利用状況



昨年度一年間で地域の皆さま275名(のべ人数)が766冊、借りていただきました。

貸出が多かった本

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1位 木挽町のあだ討ち (永井紗耶子/著) | 2位 しろがねの葉 (千早 茜/著) |
| 2位 Nのために (湊 かなえ/著) | 〃 街とその不確かな壁 (村上春樹/著) |
| 〃 鉄の骨 (池井戸 潤/著) | 〃 はるか、プレーメン (重松 清/著) |
| 〃 銀の島 (山本兼一/著) | 〃 図書館のお夜食 (原田ひ香/著) |
| 〃 美味しんぼ109 日本全県味巡り島根県編
(雁屋 哲/著) | 〃 八月の御所グラウンド (万城目 学/著) |
| 〃 神曲 (川村元気/著) | 〃 BT'63 上・下 (池井戸 潤/著) |



本屋大賞は全国の書店員さんが売りたい本に投票し、選ばれる賞です。

一次投票には全国の530書店より書店員736人、二次投票では342書店、書店員443人がノミネート作品をすべて読んだ上でベスト3を推薦理由とともに投票。その結果が4月10日に発表されました。どの本も書店員さんのアツい応援つき！読んでみませんか☺

今年の大賞は

『成瀬は天下を取りに行く』

- (宮島未奈/著 新潮社)
- 第2位 『水車小屋のネネ』
(津村記久子/著 毎日新聞出版)
- 第3位 『存在のすべてを』
(塩田武士/著 朝日新聞出版)
- 第4位 『スピノザの診察室』
(夏川草介/著 水鈴社)
- 第5位 『レーエンデ国物語』
(多崎 礼/著 講談社)

- 第6位 『黄色い家』
(川上未映子/著 中央公論新社)
- 第7位 『リカバリー・カバヒコ』
(青山美智子/著 光文社)
- 第8位 『星を編む』
(凧良ゆう/著 講談社)
- 第9位 『放課後ミステリクラブ』
1 金魚の泳ぐプール事件』
(知念実希人/著 ライツ社)
- 第10位 『君が手にするはずだった黄金について』
(小川 哲/著 新潮社)

司書のおすすめ

いま平安時代がおもしろい！

『はなとゆめ』(沖方丁/著 KADOKAWA)

今年の大河ドラマでは紫式部が主人公で、話題になっていますが、この本は同じころ、中宮定子に仕えていた清少納言の生涯を描いています。教養溢れる彼女が藤原一族の権力争いに巻き込まれていきます。

大注目の石見銀山小説！

『輝山』(澤田瞳子/著 徳間書房)

昨年『しろがねの葉』が直木賞を受賞し、話題になり、石見銀山ブームがやってきました。

この本は、自分の命と引き換えに家族のために石見銀山の間歩の中で鉱石を掘り続ける男たちの姿と男たちを見守る人々の物語です。